

ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ 長岡市障害者生活実態調査

ながおかし へいせい ねん がつ ながおかししょうがいしゃきほんけいかく しょうがいふくしけいかく
長岡市では、平成30年3月に「長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、
しょうがいふくしけいかく しょうがいしゃせさく すす らいねんど けいかく
障害児福祉計画」をつくり、障害者施策を進めてきましたが、来年度、計画の
みなお おこな
見直しを行います。

みなお き そしりょう ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ
この見直しにあたり、基礎資料とするため、「長岡市障害者生活実態調査」を
おこな
行います。

ちょうさひょう げんざい しょういっく りょういっく だんかい しょうがっこうだんかい
この調査票は、現在受けている教育（療育）段階が小学校段階である
しょうがいしゃてちょう も かた おく
障害者手帳をお持ちのすべての方にお送りいたしました。

こんかい ちょうさ しょう こじんじょうほう ながおかし こじんじょうほう ほ こじょうれい もと てきせい
今回の調査で使用した個人情報、長岡市個人情報保護条例に基づく適正
と あつか おこな
な取り扱いを行います。

ちょうさひょう むきめい ちょうさけつか けいかく みなお
また、調査票は無記名となっており、調査結果は、計画の見直しのためだけ
りょう
に利用するもので、調査目的以外に用いることはありません。

みなさま いけん ようぼう ながおかし ふくししきく い たいせつ ちょうさ
皆様のご意見やご要望を長岡市の福祉施策に生かすための大切な調査ですの
で、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

れいわがんねん がつ なが おか し
令和元年9月 長岡市

きにゅう ご記入にあたって

- ちょうさひょう なか しょうがい ほんにん
調査票の中の「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- ほんにん きにゅう かいとう むずか ばあい かぞく かた
ご本人が記入もしくは回答の難しい場合は、ご家族の方などが代わりに
きにゅう
記入してください。
- れいわがんねん がつ にちげんざい じょうきょう こた
令和元年8月1日現在の状況についてお答えください。

ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう い がつ にち ようび ゆうそう
調査票は同封の返信用封筒に入れて、10月7日（月曜日）までに郵送して
ください。

ふうとう きって ひつよう じゅうしょ なまえ か ひつよう
封筒には、切手をはる必要も、住所・名前を書く必要もありません。

と あ さき
<問い合わせ先>

ながおかしおおとどおり ちょうめ ばんち
〒940-8501長岡市大手通1丁目4番地10

ながおかしふくしほけんぶ ふくしそうむか
長岡市福祉保健部 福祉総務課

でん わ ちやくつう
電話 (0258) 39-2371(直通)

ファックス (0258) 39-2275

でんし
電子メール fukushi@city.nagaoka.lg.jp

ちょうさこうもく およ しょうほう こた
調査項目 I 及び II の両方について、お答えください。

ちょうさこうもく
調査項目 I

とい 問 1 この調査票の回答者はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 本人
2. 本人が答え、家族・施設職員などが記入する
3. 家族などが代わって答える
4. 施設職員が代わって答える
5. その他 ()

とい 問 2 あなたの性別はどちらですか。どちらか1つの番号に○をつけてください。

1. 男性
2. 女性

とい 問 3 あなたは何歳ですか。回答欄に記入してください。

() 歳 (令和元年8月1日現在)

とい 問 4 あなたはどの障害者手帳をお持ちですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体障害者手帳
2. 療育手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳

とい 問 5 あなたの障害者手帳の等級は次のどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体障害者手帳総合等級 1～3 級
2. 身体障害者手帳総合等級 4～6 級
3. 療育手帳A
4. 療育手帳B
5. 精神障害者保健福祉手帳 1～3 級

とい 問 6	あなたの ^す 住んでいる ^{ちいき} 地域はどこですか。あてはまる ^{ばんごう} 番号に <u>1つだけ</u> ○をつけてください。
-----------	--

1. 長岡^{ながおかし}地域の川東^{かわひがし}地区^{ちく}
2. 長岡^{ながおかし}地域の川西^{かわにし}地区^{ちく}
3. 中之島^{なかのしま}地域^{ちいき}
4. 越路^{こしじ}地域^{ちいき}
5. 三島^{みしま}地域^{ちいき}
6. 山古志^{やまこし}地域^{ちいき}
7. 小国^{おぐに}地域^{ちいき}
8. 和島^{わしま}地域^{ちいき}
9. 寺泊^{てらどまり}地域^{ちいき}
10. 栃尾^{とちおち}地域^{ちいき}
11. 与板^{よいた}地域^{ちいき}
12. 川口^{かわぐち}地域^{ちいき}
13. 長岡市外^{ながおかしがい}

とい 問 7	あなたは ^{げんざい} 現在、どこで暮ら ^く していますか。あてはまる ^{ばんごう} 番号に <u>1つだけ</u> ○をつけてください。
-----------	--

1. 家族^{かぞく}などの持ち家^{もちいえ}（一戸^{いっこだ}建て、分譲^{ぶんじょう}マンションなど）
2. 賃貸^{ちんたい}アパート・マンション、借家^{しやくや}
3. 入所^{にゅうしょ}施設^{しせつ}
4. その他（）

とい 問 8	あなたは ^{げんざい} 現在、だれと暮ら ^く していますか。あてはまる ^{ばんごう} 番号に <u>1つだけ</u> ○をつけてください。
-----------	--

1. 家族^{かぞく}
2. 自分^{じぶん}ひとり（施設^{しせつ}入所^{にゅうしょ}を含む^{ふく}）
3. その他（）

とい 問 9	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたは^{げんざい}現在、音楽^{おんがく}や映画^{えいが}、絵画^{かいが}などの芸術^{げいじゆつ}・文化活動^{ぶんかかつどう}をしたり、見^みたり、聴^きいたりしていますか（趣味^{しゆみ}を含む^{ふく}）。</p> <p>どちらか1つの^{ばんごう}番号に○をつけてください。「1. している」と答^{こた}えた方は、その主^{おも}な内容^{ないよう}を1つお書^かきください。</p>
-----------	---

1. している ※主^{おも}な内容^{ないよう}（） → 問10へ
2. していない → 問11へ

とい 問10	<p>問9で、「1. している」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたは現在、どのくらいしていますか。あてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。</p>
-----------	--

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回
4. 月に2～3回 5. 月に1回 6. 年に数回

とい 問11	<p>問9で、「2. していない」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたがしていない理由は何ですか。あてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。</p>
-----------	---

1. 興味がない
2. したいができない
→できない理由 ()

とい 問12	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたは現在、スポーツをしたり、見たりしていますか。</p> <p><u>どちらか1つの番号</u>に○をつけてください。「1. している」と答えた方は、その主な内容を1つお書きください。</p>
-----------	---

1. している ※主な内容 () →問13へ
2. していない →問14へ

とい 問13	<p>問12で、「1. している」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたは現在、どのくらいしていますか。あてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。</p>
-----------	---

1. ほぼ毎日 2. 週に2～3回 3. 週に1回
4. 月に2～3回 5. 月に1回 6. 年に数回

とい 問14	<p>問12で、「2. していない」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたがしていない理由は何ですか。あてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。</p>
-----------	--

1. 興味がない
2. したいができない
→できない理由 ()

★ 次の表をご覧ください。その後、質問にお答えください。

相談窓口 そうだんまどぐち	内容 ないよう
障害者相談支援センター 相談支援センターふかさわ 障がい者支援センターあさひ 越路ハイム地域生活支援センター 地域生活支援センターサンスマイル 障害者相談支援センターとちお	地域における生活の中でのさまざまな相談や福祉サービスの紹介や手続きの手伝いなどを行います。
障害者地域生活支援センター ながおかりょういくえん 長岡療育園	生活全般に関する相談を受け、助言や福祉サービス等の情報を提供を行います。
障がい者就業・生活支援センター 障がい者就業・生活支援センターこしじ	就労面全般にわたる支援や日常生活上の支援を行います。
身体障害者相談員・知的障害者相談員	医療、補助具、生活、身の上、税金などの相談を受けます。
ながおかしこども家庭センター こども発達相談室	就学前の子ども成長や発達に関する不安や悩みごとの相談を行います。
教育センター教育相談室	発達障害、不登校、学習や行動の悩み、就学などの相談を行います。

問15 **すべての方にお聞きします。**
 あなたは上記のような相談窓口があることを知っていましたか。どちらか1つの番号に○をつけてください。

1. 知っていた → 問16へ
 2. 知らなかった → 問18へ

問16 **問15で、「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。**
 あなたは、困ったことや悩みごとを上記のような相談窓口にご相談したことがありますか。どちらか1つの番号に○をつけてください。

1. 相談したことがある → 問18へ
 2. 相談したことがない → 問17へ

とい 問17	<p> 問16で「2.相談したことがない」と答えた方にお聞きします。 相談したことがない理由は何か。最もあてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。 </p>
-----------	--

1. 相談窓口の場所や電話番号を知らない
2. 相談窓口の場所が遠くて行きにくい
3. 相談窓口で相談したことを知り合いに知られてしまうことが心配
4. 相談窓口の職員が信用できない
5. 相談することがない
6. その他 ()

とい 問18	<p> すべての方にお聞きします。 あなたは、市が配付している相談支援ファイル「すこやかファイル」を知っていますか。あてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。 </p>
-----------	--

1. 知っているし、利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

とい 問19	<p> すべての方にお聞きします。 あなたは休日や放課後などに預かりサービス（※）を利用していますか。 <u>どちらか1つの番号</u>に○をつけてください。（※「預かりサービス」とは、福祉サービス、放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センターなどをいいます。） </p>
-----------	---

1. 預かりサービスを利用している → 問20へ
2. 預かりサービスを利用していない → 問23へ
(施設入所している方も含みます)

と 問20	<p>と 問19で「1. <small>あず</small>預かりサービス<small>りよう</small>を利用して<small>こた</small>いる」と答<small>かた</small>えた方<small>き</small>にお聞<small>き</small>きます。 あなたはどのよ<small>あず</small>うな預かりサービス<small>りよう</small>を利用して<small>ばんごう</small>いますか。あてはまる番<small>ばんごう</small>号 す<small>ばんごう</small>べてに○をつけてく<small>ばんごう</small>ださい。</p>
----------	---

1. たんきにゅうしょ短期入所(ショーステイ)
2. にちちゅういちじしえん日中一時支援
3. そうごうしえんがっこうほうかご総合支援学校放課後サポートじぎょう事業
4. ほうかごとう放課後等デイサービス
5. ほうかごじどう放課後児童クラブ
6. ファミリー・サポート・センター
7. その他 ()

と 問21	<p>と 問19で「1. <small>あず</small>預かりサービス<small>りよう</small>を利用して<small>こた</small>いる」と答<small>かた</small>えた方<small>き</small>にお聞<small>き</small>きます。 あなたはどのよ<small>りゆう</small>うな理由<small>あず</small>で預かりサービス<small>りよう</small>を利用して<small>ばんごう</small>いますか。あてはま る番<small>ばんごう</small>号す<small>ばんごう</small>べてに○をつけてく<small>ばんごう</small>ださい。</p>
----------	--

1. おや親が働はたらいていて不在ふざいのため面めんどう倒みを見てもらうことができないから
2. おやがい親以外めんどうに面めんどう倒みを見してくれる家かぞく族がいみないから
3. かぞく家かぞく族が体たい調ちよう不ふ良りようまたは高こう齢れいのためめんどうに面めんどう倒みを見てもらうことができない
から
4. かぞくときどき家かぞく族が休きゆう息そくをとりたいから(かいごふたん けいげん)(介護負担の軽減)
5. じぶん自分しょうがいの障しょう害がいが重おもくて介かい護ごしてもらたいへんうのが大たい変へんだから
6. かんこんそうさい冠婚葬祭かぞくなどで家かぞく族が不在ふざいになるから
7. その他 ()

と 問22	<p>と 問19で「1. <small>あず</small>預かりサービス<small>りよう</small>を利用して<small>こた</small>いる」と答<small>かた</small>えた方<small>き</small>にお聞<small>き</small>きます。 <small>あず</small>預かりサービスは十分<small>じゅうぶん</small>に利用<small>りよう</small>できていますか。あてはまる番<small>ばんごう</small>号<small>ばんごう</small>に1つ<small>ばんごう</small> だ<small>ばんごう</small>け○をつけてく<small>ばんごう</small>ださい。</p>
----------	--

- | | | |
|---|---|--------|
| 1. 十分 <small>じゅうぶん</small> に利用 <small>りよう</small> できている | } | → 問25へ |
| 2. おおむね利用 <small>りよう</small> できている | | |
| 3. 利用 <small>りよう</small> できないことがよくある | } | → 問24へ |
| 4. ほとんど利用 <small>りよう</small> できていない | | |

とい 問23	とい 2. 預 ^{あず} かりサービスを利用 ^{りよう} していない」と答 ^{こた} えた方 ^{かた} にお聞 ^き きしま す。 あなたが預 ^{あず} かりサービスを利用 ^{りよう} していない理由 ^{りゆう} は何 ^{なん} ですか。あてはまる 番号 ^{ばんごう} に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 預^{あず}かりサービスを利用^{りよう}したいが、十^{じゅうぶん}分に利用^{りよう}できないから → 問24へ
 2. 預^{あず}かりサービスを利用^{りよう}する必要^{ひつよう}がないから
 (施^し設^{せつ}入^{にゅう}所^{じょ}している方^{かた}も含^{ふく}みます)
 3. 預^{あず}かりサービスがあることを知^しらなかつたから
- } → 問25へ

とい 問24	とい 3. 利用 ^{りよう} できないことがよくある」または「4. ほとんど利用 ^{りよう} できていない」と答 ^{こた} えた方 ^{かた} と、問23で「1. 預 ^{あず} かりサービスを利用 ^{りよう} したいが、 十 ^{じゅうぶん} 分に利用 ^{りよう} できないから」と答 ^{こた} えた方 ^{かた} にお聞 ^き きします。 預 ^{あず} かりサービスを利用 ^{りよう} できなくて困 ^{こま} っていることは何 ^{なん} ですか。あてはまる 番号 ^{ばんごう} すべてに○をつけてください。
-----------	--

1. 祖^そ父^ふ母^ぼなど親^{おや}以外^{いがい}の家族^{かぞく}の負担^{ふたん}が増^ふえた
2. 家族^{かぞく}の用事^{ようじ}をキャンセルした
3. あなたが学^{がっ}校^{こう}を休^{やす}んだ
4. 親^{おや}が仕^し事^{ごと}を辞^やめた、または転^{てん}職^{しょく}した
5. 親^{しん}戚^{せき}や近^{ちか}くの友^{ゆう}人^{じん}に迷^{めい}惑^{わく}をかけた
6. あなた一人^{ひとり}で留^る守^す番^{ばん}をしなければならず、不^ふ安^{あん}だった
7. その他^た ()

とい 問25	<p style="text-align: center;">すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたは、過去3年の間に、障害を理由として差別されたと感じた場面はありましたか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u></p>
-----------	---

1. 公共施設を利用する場面
2. 交通機関を利用する場面
3. 情報の取得や利用・意思疎通の場面
4. 買い物・外食の場面
5. 医療に関する場面
6. 教育に関する場面
7. 文化活動に関する場面
8. その他 ()
9. 差別を感じたことはない

とい 問26	<p style="text-align: center;">すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたが、障害のある人への差別を解消するために必要と考えることは何ですか。最もあてはまる番号に<u>1つだけ○をつけてください。</u></p>
-----------	---

1. 福祉教育を充実させる
2. 講習会や学習会などを開催する
3. 施設や設備のバリアフリー化をさらに進める
4. 福祉サービスをさらに充実させる
5. 行政機関における配慮をさらに進める
6. 民間事業所における配慮をさらに進める
7. 教育における配慮をさらに進める
8. イベントなどへ参加しやすいよう配慮する
9. 障害者雇用をさらに進める
10. その他 ()

つづいて「調査項目Ⅱ」の回答をお願いします。

ちょうさこうもく
調査項目Ⅱ

とい
問 1

あなたが現在、在籍している学校・学級はどれですか。あてはまる番号に
1つだけ○をつけてください。

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の通常学級と通級による指導
3. 小学校の特別支援学級
4. 特別支援学校小学部（総合支援学校小学部、聾学校小学部など）
5. その他（ ）

とい
問 2

あなたが現在、在籍している学校・学級以前に、在籍していた学校・学級
について、以下の問にお答えください。

(1)

現在、在籍している学校・学級以前に、在籍していた学校・学級が
ありますか。どちらか1つの番号に○をつけてください。

1. ある → 問 2 (2) へ
2. ない → 問 3 へ

(2)

在籍していた学校・学級はどれですか。あてはまる番号に1つだけ○
をつけてください。在籍していた学校・学級が複数ある場合は、現在、
在籍している学校・学級の一つ前に在籍していた学校・学級にあては
まる番号に○をつけてください。

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の通常学級と通級による指導
3. 小学校の特別支援学級
4. 特別支援学校小学部（総合支援学校小学部、聾学校小学部など）
5. その他（ ）

<p>問 3</p>	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたが現在、<u>在籍</u>している学校・<u>学級</u>に通うことになったきっかけは何ですか。あてはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p>
------------	--

1. 利用していた施設や機関で紹介された
2. 医療機関に紹介された
3. 親の会・当事者団体で紹介された
4. 本人が希望した
5. 親が情報を集めて希望した
6. 小学校の担任の先生や特別支援教育コーディネーターなどの助言
7. 以前、在籍していた学校（学級）の勉強についていけなかった
8. 以前、在籍していた学校（学級）では人間関係がうまくいかなかった
9. 以前、在籍していた学校（学級）では教員の理解が足りなかった
10. 以前、在籍していた学校（学級）では学校と関係機関との連携がうまくいかなかった
11. 以前、在籍していた学校（学級）と同じ地域の学校で学びたかった
12. その他（ ）

<p>問 4</p>	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたは現在、問5にあげたようなサービスを利用していますか。<u>どちらか</u>1つの番号に○をつけてください。</p>
------------	--

1. 利用している → 問5へ
2. 利用していない → 問7へ

<p>問 5</p>	<p>問4で、「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたは現在、どのようなサービスを利用していますか。あてはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p>
------------	--

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 放課後等デイサービス | 6. 施設入所 |
| 2. 短期入所（ショートステイ） | 7. ファミリー・サポート・センター |
| 3. 居宅介護（ホームヘルプ） | 8. 総合支援学校放課後サポート |
| 4. 日中一時支援 | 9. その他（ ） |
| 5. 移動支援 | |

とい 問 6	<p>問4で、「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。</p> <p>問5で答えたサービスを利用するためにどこで情報を得ましたか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u></p>
-----------	---

1. 医療機関
2. 市役所
3. 児童相談所
4. 通所支援施設
5. 入所施設
6. 親の会・当事者団体
7. 障害者相談支援センター
8. 保育園、幼稚園、認定こども園
9. 小学校
10. 特別支援学校（総合支援学校、聾学校など）
11. 大学などの研究機関
12. インターネット、図書雑誌など
13. その他（ ）

とい 問 7	<p>問4で、「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたが現在、サービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号に<u>1つだけ○をつけてください。</u></p>
-----------	--

1. サービスを利用する必要がないから
2. 必要なサービスがないから
3. その他（ ）

とい 問 8	<p><u>すべての方にお聞きします。</u></p> <p>あなたは今後、どのようなサービスを利用したいですか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u></p>
-----------	---

1. 介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や休養のため、短期間、施設に入所（宿泊）して預かってもらいたい。
2. 休日や放課後などに介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や休養のため、一時的（日帰り）に預かってもらいたい。
3. 出かけるときにホームヘルパーに付き添ってもらい、移動などを介助してもらいたい。
4. 日常生活に必要な能力を向上させたり、集団生活に適応できたりするための訓練を受けたり、地域と交流したりしたい。
5. 自宅にホームヘルパーに来てもらって、入浴や排泄などの身体介護を受けたい。
6. 家族による介護が日常的に難しいため、長期間、施設に入所して生活したい。
7. その他（ ）

とい 問 9	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたは、日常生活における相談や支援について、普段どこに相談していますか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけて</u>ください。</p>
-----------	--

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 医療機関 | 7. 障害者相談支援センター |
| 2. 市役所 | 8. 小学校 |
| 3. 児童相談所 | 9. 特別支援学校（総合支援学校、聾学校など） |
| 4. 通所支援施設 | 10. 大学などの研究機関 |
| 5. 入所施設 | 11. その他（ ） |
| 6. 親の会・当事者団体 | |

とい 問10	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p>あなたの「個別の教育支援計画」(※1)または「個別の指導計画」(※2)は作成されていますか。あてはまる番号に<u>1つだけ○をつけて</u>ください。</p> <p>※1「個別の教育支援計画」とは、福祉・医療等の関係機関との連携を図り、長期にわたって教育的支援を行うための計画をいいます。</p> <p>※2「個別の指導計画」とは、児童生徒の実態に応じて長期目標や短期目標を設定し、実態に即した指導を行うために、指導内容や指導方法、評価等を明らかにした計画をいいます。</p>
-----------	---

- | | | |
|---|---|--------------|
| <p>1. 「個別の教育支援計画」のみが作成されている</p> <p>2. 「個別の指導計画」のみが作成されている</p> <p>3. 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」が作成されている</p> | } | → とい
問11へ |
| 4. 作成されていない | → | とい
問12へ |

とい 問11	<p>問10で、「1.「個別の教育支援計画」のみが作成されている」または「2.「個別の指導計画」のみが作成されている」、「3.「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」が作成されている」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたの「個別の教育支援計画」または「個別の指導計画」の作成にあたり、学校とどれくらい話し合いましたか。あてはまる番号に<u>1つだけ○をつけて</u>ください。</p>
-----------	---

1. 年に2回以上話し合った
2. 年に1回話し合った
3. 話し合っていない

とい 問12	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p><small>ちゅうがっこうだんかい しんがくさき</small> 中学校段階の進学先として、どこを<small>かんが</small>考えていますか。あてはまる番号に <u>1つだけ○をつけてください。</u></p>
-----------	---

1. 中学校の通常学級
2. 中学校の通常学級での通級による指導
3. 中学校の特別支援学級
4. 特別支援学校中学部 (総合支援学校中学部、聾学校中学部など)
5. その他 ()

とい 問13	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p><small>ちゅうがっこうだんかい しんがくさき</small> 問12 で答えた学校を進学先として、<small>かんが</small> 考える理由は何ですか。あてはまる 番号<u>すべてに○をつけてください。</u></p>
-----------	--

1. 一人ひとりのニーズにあった教育支援が受けられるから
2. 担任や学校のすすめにより
3. 本人が希望しているから
4. 親が希望しているから
5. 障害に理解のある先生がいるから
6. 仲のよい友だちと同じ学校に通えるから
7. 同じ学校にきょうだい通っているから
8. 地域との結びつきがあるから
9. 通学が便利だから
10. その他 ()

とい 問14	<p>すべての方にお聞きします。</p> <p><small>しんがくさき せんたく</small> 進学先を選択するにあたって悩んでいることはありますか。<u>どちらか1つ</u> <small>ばんごう</small> の番号に○をつけてください。</p>
-----------	---

1. ある → とい 問15 へ
2. ない → とい 問17 へ

問15	<p>問14で「1. ある」と答えた方にお聞きします。</p> <p>あなたが悩んでいる理由は何ですか。あてはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p>
-----	--

1. 進路が決まっていないから
2. 自分の適性がわからないから
3. 希望する進路先についての情報がないから
4. 相談にのってくれる人がいないから
5. 勉強についていけるかどうか心配だから
6. 進路について家族と意見が合わないから
7. 進路について先生と意見が合わないから
8. 進路先へ通う手段がないから
9. その他 ()

問16	<p>問14で「1. ある」と答えた方にお聞きします。</p> <p>学校でもっと指導してほしかった（これから指導してほしい）こと、または学校に対する要望は何ですか。あてはまる番号<u>すべてに</u>○をつけてください。</p>
-----	---

1. 上級学校訪問などの体験学習
2. ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習
3. 学校の先生の助言
4. 進路指導に詳しい外部専門家の巡回相談
5. 希望している進路先に関する情報の収集
6. 学校の先生の進路指導についての理解
7. その他 ()

とい 問17	とい 問14で「2. ない」と答えた方にお聞きします。 あなたが悩んでいない理由は何ですか。あてはまる番号に <u>1つだけ</u> ○をつけてください。
-----------	---

1. 進路が決まっているから
 2. 自分の適性がわかっているから
 3. 学校が進路先を決めてくれると思うから
 4. 家族が進路先を決めてくれると思うから
 5. 進路を決めるまでにまだ時間があるから
 6. その他 ()
- } → とい 問18 へ

とい 問18	とい 問17で「1. 進路が決まっているから」または「2. 自分の適性がわかっているから」と答えた方にお聞きします。 進学先が決まったり、自分の適性がわかった理由は何ですか。あてはまる番号 <u>すべて</u> に○をつけてください。
-----------	---

1. 上級学校訪問などの体験学習
2. 学校の先生の助言
3. 家族の助言
4. 卒業生の体験談と助言
5. 進路相談に詳しい外部専門家の巡回相談
6. ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習
7. その他 ()

○	障害者施策に関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。
---	------------------------------------

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。